

# 新潟県立長岡聾学校

## きこえ通信

令和5年度 第6号

当校 HP にも掲載  
中!⇒R4~の通級  
便り、R5.4~のきこ  
え通信

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町2-1-13

TEL 0258-38-0210 (通級指導教室)

\*5コール程で出ない場合は自動で学校代表につながります。

FAX 0258-39-5665

e-mail [school@nagaokarou.nein.ed.jp](mailto:school@nagaokarou.nein.ed.jp)

発行：令和5年10月

### 難聴がある場合の入試での合理的配慮について



配慮なし

平等だが左の子は見えない。

公正 全員が見える。

←  
T  
E  
E  
N  
S  
作  
成

難聴があると、入試でのリスニングや注意事項の放送などで困ることがあります。今回は、全員が同じスタートラインに立てるような、入試での合理的配慮の申請について情報提供します。

### 入試の特別措置(合理的配慮)について(県立高校を例として)

\*新潟県立高校入試の募集要項では、合理的配慮は「特別申請」と標記されています。

特別措置の内容が新潟県のHPに下記のように掲載されています。難聴がある生徒は補聴器の使用、別室受検、放送の文字での提示、座席の配慮などが対象となります。「ワイヤレスシステム」は、「ロジャー」などの補聴援助システムのことです。別室受検等、日頃の定期考査などで実施している配慮内容が反映されますので、ギリギリになって考えるより、入学時から定期考査の受け方について相談、実施することを在籍校へお伝えしています。特別措置の申請には診断書なども必要なので、9月から11月くらいに受診できるよう、前もって相談しています。また、申請しても全部許可されないこともありますし、以前は他地域、当校ともに「座席の配慮」をお願いしていても、感染状況の影響でお願いしたとおりにならず、当日びっくりしたことがあったそうです。でも、受検した生徒は落ち着くよう自分に言い聞かせ、乗り切ったとのことでした。努力してきたのだから何があっても大丈夫と思って臨んでほしいと思います。

中3の生徒とは、どう申請するか相談し(相談の上申請しなかった生徒もいます)、在籍校の先生と連絡を取り合います。当通級では高校入試の特別措置について、10月中に在籍校に関係資料を送らせていただき、在籍校訪問でも情報提供をする予定です。不明な点がありましたら、通級担当までお問い合わせください。



#### 新潟県 HP より

私立高等学校等(主に専願)に関しては、各校へ特別措置について確認が必要となります。特別措置の内容は、学校や受検方法などによってそれぞれ異なります。

県立中等教育学校も県立高校と同様の手続きとなります。県HPの募集要項に用紙等が記載されています。

高等専門学校(高専)も同様の合理的配慮を行っています。詳細はHPをご確認ください。県立高校より時期が早いです。

特別措置項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
① 別室受検 ※ ( ) 内は英語のみ実施の内数	98(5)	102(6)	113(3)
② 英語の聞き取りの口唇読み取り	4	2	0
③ 車椅子、車椅子用机の使用	1	2	1
④ 検査問題の拡大	2	4	4
⑤ 拡大鏡(ルーペ)の使用	1	1	0
⑥ 検査時間の延長	3	2	4
⑦ 検査問題の読み上げ	1	0	2
⑧ 検査問題にルビをつける	2	1	3
⑨ その他	32	54	67

※ その他の主な項目

松葉杖・ハンカチ・耳栓等の使用、座席の配慮、補聴器の使用、専用のCDプレイヤー、ワイヤレスシステムの使用、個人面接、保護者の校舎立入、放送は文字で指示 など

大学等上級学校(以下大学等)についても、各校へ合理的配慮について確認が必要となります。合理的配慮の内容は、学校や受験方法などによってそれぞれ異なります。HPに記載している大学等が多いようですが、詳細は各大学等へ確認が必要です。大学入学共通テストについては、すでに各高校、中等教育学校へ「受験上の配慮案内」の冊子が届いていると思われます。\*右図大学入試センターのHPでも確認できます。

大学入学共通テストの合理的配慮の手続きは、受験する年の8月頃です。希望する場合は、高2(受験の前の年)のうちに内容を確認すると良いと思います。ちなみに、難聴があることが入学条件の大学等は「筑波技術大学」(茨城県つくば市)、筑波大学附属聴覚支援学校専攻科(千葉県市川市)があります。他の大学等に進学している難聴のある人もいます。

また大学等には、支援に関わる相談部門が設置されているところがあります。学生の要望で設置したところもあります。相談しながら、学習や生活がしやすくなったケースもあります。当校もいくつか情報提供できます。

令和6年度  
大学入学選抜に係る  
大学入学共通テスト  
**受験上の配慮案内**  
〔障害等のある方への配慮案内〕

出願前申請の場合	令和5年 8月 1日(火) ～ 9月 22日(金) (申込締切)
出願時申請の場合	令和5年 9月 25日(月) ～ 10月 5日(木) (申込締切)



入試をきっかけに、改めてきこえについて「自分は何が苦手でどのように助けてほしいか」を相手の方が分かってくださるように、丁寧をお願いすることができるようになってほしいと思います。今すぐに、100%できる必要はありません。「～を貸してください」、「今、何て言ったの?」などちょっとしたことで良いと思います。周囲の人が気持ちよく助けてくれるように、お礼もきちんと言えると良いと思います。

自分のきこえをどう伝えていくかということについては、次の通信で情報共有したいと思います。

入試の配慮はありますが**試験問題、採点は他の人と同じ! まず大切なのは「学力」です! 勉強の習慣も大切です!** オススメ勉強動画を紹介します。

最近、いろいろな情報がインターネット上にあります。「勉強動画」というものを利用したことがある人もいるかもしれません。勉強を画像などで教えてくれるものもありますが、「勉強の時間設定」などの勉強の進め方を紹介している動画もあります。「つい、休憩が長くなってしまふ」、「自分一人では勉強しにくい」という人にお勧めです。例として、次のものがあります。自分に合ったものを見つけ、参考にしてください。\*字幕あり

- 一緒に勉強するタイプ 例:「中学生女子の勉強タイム 90分」\*CMなし  
紹介する人がひたすら45分間勉強し、10分休憩して、その後再び45分間、勉強します。「他の人も勉強しているから頑張れる」ような動画です。
- 勉強の進め方のコツを紹介するタイプ 例:「450点以上取る勉強ルーティーン」  
まずその日の予定を立てる、スマホは電源を切ってカバンの奥へ、タイマーで「最も集中できる時間」とされる25分を設定して勉強する、タイマーを設定して5分休憩、再び25分勉強、夕食前に思考する教科(数学など)、寝る前に暗記科目(社会など)のアイデアを紹介しています。\*約7分



## 県教委より委託された難聴の研修会を行います。

各校に案内が届いていると思いますが、県教委からの委託で難聴に関わる研修会「耳やきこえに関する理解研修会」を当校主催で行います(対象:教員、市町村子ども課等)。11月9日(木)の15:30~17:00、zoomによるオンラインで、上越教育大学の坂口先生からご講演いただきます。難聴に関する研修は少ないので、この機会に視聴していただければと思います。ご参加をお待ちしています。